



12月園だより

令和4年12月1日
目黒区立大岡山保育園 園長

紅葉した樹木の枝の間を見上げると青空が広がり、生き生きしていた葉も風に軽々と揺られていて、もう冬が訪れていることを感じさせます。

11月に全園児対象の歯科検診が行われました。1歳児クラスの月齢が大きい子どもたちに担任が「お口を開けるだけだからね、開けてみて」と遊びを交えつつリハーサルをしています。そんな甲斐もあってか、1番最初に診てもらった子は堂々と泣きもせず、口を開けて見せてくれました。歯科の先生に診察をしてもらい泣いていた子が他の子のところに戻ってくると、「こわくないよ」と言いながら数名の子がその子を撫で始めました。すると泣いていた子の心に届いたのかすぐに泣き止みました。のちにその姿を見ていて友達を思う気持ちに成長が見られ感動したと担任から話を聞きました。1歳児から2歳児に向かう頃には語彙も増え、友達への関心も広がります。この場面では『怖い気持ち』だと自分のことのように思えたのでしょうか。泣かなかった子もドキドキして泣いてしまいたい気持ちを自分なりに抑えながら口を開けていたんだと思うと胸が熱くなりました。

今年も早いもので幕を閉じようとしています。保育園は12月29日～1月3日までお休みとなります。この期間は家庭保育となりますが、感染症、交通安全に留意をしながら楽しい年末年始を過ごしていただきたいと思います。



今月の予定

成長お祝い会（3・4・5歳児クラス）
中旬 身体計測・避難訓練
しめ縄作り（5歳児）



1月の予定

新年を祝う会（3・4・5歳児クラス）
乳児お楽しみ会（0・1・2歳児クラス）
中旬 身体測定・避難訓練

～つぶやき～

散歩中に月を見つけたその日の夕方、園庭に出ると空を見上げていたので「お月様はどこにいるのかな？」と声をかけると、白いちぎれた雲を指さし、
子ども「バラバラになっちゃった」
保育士「バラバラになっちゃったね」
子ども「夜になったらくつつくんじゃない？」

（2歳児クラス）

手洗いをするとき、
保育士「おそで、ぎゅってしてね（まくってね）」
子ども「ぎゅ～」と言いながら、保育士に抱きつく

（0歳児クラス）





絵本を通して

『 だるまさんが 』 0歳児クラス(いちご組)

「だーるーまーさーんーが」と保育士が言うと、両手を横に広げて左右に重心を移して絵本のだるまさんの真似をしています。「どてっ」と保育士が言うと床に手をついて転ぶ真似、「ぶしゅー」は風船がしぼむ様に床にぺたーとうつ伏せになります。次は保育士が何を言うかな?と期待の表情で見ている子どもたちは、保育士が歌うのをやめると“もう一回やろう”と仕草でリクエストしています。また、会話の中に「だるまさん」というフレーズを耳にただけで、部屋の壁に貼ってあるだるまさんの絵のところに行って指を差し、“これでしょ” “おんなじ”と保育士に知らせてくれます。一人がだるまさんの動きを始めると、気が付いた他の子も一緒に揃って揺れたり転んだりし、とてもかわいらしい姿です。

言葉の持つ音の響きを感じ取る感性を大切にしながら、保育士とのやりとりや表現することを絵本を通じて楽しんできたいと思います。

『 おにのあかたろう 』 2歳児クラス(りんご組)

「おにのあかたろう」の絵本は、あかたろうが電話を繰り返しかけるお話です。「123の345、もしもし」という言葉が繰り返し出てくるのが面白くて一緒に言っています。ある日、絵本を読んでいると積み木を電話のように耳に当てて「もしもし」と側へくる子がいました。首をちょっと傾けて「うんうん」とよく見かける通話のスタイルです。それを見ていた子も積み木を持ってきて「123」と電話を始めます。2人でやりとりしているわけではないのですが、絵本のイメージで電話をやってみたかったのでしょう。その後、お店屋さんごっこで遊んでいるとまた違う子が積み木フォンを耳に当て「あの、アイスクリームください」と来ました。保育士が空き箱を耳に当て「はい、ご注文ですね」と返事をしてアイスクリームを渡すと、注文ができて嬉しそうな笑顔です。このように家庭や保育園でいろいろな言葉に触れている子どもたちは、再現をして楽しんでいます。

これからも、イメージを共有しながら遊びが広がるように、絵本や共通の体験等を通して楽しめるようにしていきます。

『 昆虫図鑑 』

4歳児クラス(れもん組)



昆虫が大好きな子どもたちは虫を見つけると昆虫図鑑を見ながら虫の名前を調べています。名前を調べるだけではなく他の虫の生息地、何を食べるか、どんな生活をしているかなど様々な事を深く追求し「ギラファノコギリクワガタとフェモラリスツヤクワガタはね、暖かいところにいるんだよ。どっちが強いと思う?」と大人でもいうのが難しい虫の名前がスラスラ出てきたり「こならしぎソウムシはね、ドングリの中にいるんだよ」「そうだよ。ドングリの中を食べて大きくなるんだよね」など図鑑を囲んで小さい昆虫博士たちが調べて得られた知識を得意そうに話し合っている姿はとても生き生きとしています。見るだけではなく自分で昆虫を書き写しオリジナルの昆虫図鑑を作ることなども楽しんでいます。好きな事にとことん夢中になり興味関心がどんどん広がっているのを感じます。探求心旺盛な子どもたちがこれからどんなことに興味を持っていくのか、保育士も一緒に楽しみながら見守っていきたいと思います。

